

宇部のコミュニティ・スクール

やまぐち型地域連携教育

「やまぐち型地域連携教育」という言葉をご存知でしょうか。

「やまぐち型地域連携教育」とは、コミュニティ・スクール（CS）が核となり、山口県独自の取組である「地域協育ネット」の仕組みを生かして、各中学校区で地域のネットワークを形成し、学校・家庭・地域が連携・協働することにより、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り支援する取組です。この取組を進めることで、小・中学校のコミュニティ・スクールの充実、小中連携の充実、さらには、保育所や幼稚園、高校、特別支援学校等との学校間連携を進め、地域の様々な社会教育団体等がつながり、地域ぐるみの教育支援体制が構築されることをめざしています。

◎「コミュニティ・スクール」の取組紹介

東岐波中学校

第2回学校運営協議会に参加させていただきました。会長と校長のあいさつに続き、生徒会あいさつがありました。

生徒会執行部一人ひとりが自己紹介した後、生徒会長から学校の様子についての説明がありました。説明を聞いて、「生徒会として自分たちの学校課題を的確に把握していること。」「東岐波中学校の生徒としてあいさつ・掃除を学校の自慢・誇りとしていること。」がよくわかりました。

会長から、東岐波中の子どもたちの地域貢献に感謝するとともに、引き続き、地域にしっかりと出て行ってほしいという言葉がありました。

生徒が退席する時に、委員のみなさんから大きな拍手が起こりました。きっと、子どもたちの少し緊張しながらも凛とした姿に、地域の子どもの頼もしさを感じたのだと思いました。



【CSの取組を通して、生徒の主体性も育っていました。】

二俣瀬小学校

二俣瀬小学校で第2回学校運営協議会が開かれました。

はじめに、地域連携教育アドバイザーを講師とし、CSの仕組みや必要性、効果、取組例についての研修を行いました。

その後、「二俣瀬の子どもの未来～こんな子どもに育ててほしい」をテーマとした全教職員と学校運営協議会委員による部会別の熟議が行われました。初めての熟議ということで、最初はみなさん緊張気味でした。しかし、意見交換し始めると、声も大きくなり、笑声も混じるようになりました。結果、ワイワイガヤガヤの熱気あふれる熟議になりました。知・徳・体の部会発表では、二俣瀬の子どものよさと課題、子どもたちに期待することを伝え合いました。今回の熟議が、地域とともにある学校づくりの確かな一歩だと思いました。



【熟議により、学校が開かれ地域とつながる価値ある時間でした。】

コミュニティ・スクールや地域協育ネットに関する情報をお寄せください。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課 Tel 0836-37-2780

E-mail : ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp